付属ソフトウェアについて

35011905 ver.02

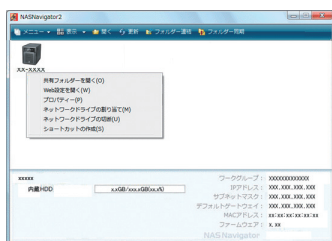
NAS Navigator2(Windows)

NAS Navigator2 を使えば、TeraStation の設定画面を表示したり、IP アドレスを変更したり、容量を簡単に知ることができます。

TeraNavigator でセットアップすると、NAS Navigator2 がインストールされます。

NAS Navigator2 は OS 起動時にタスクトレイに常駐します。

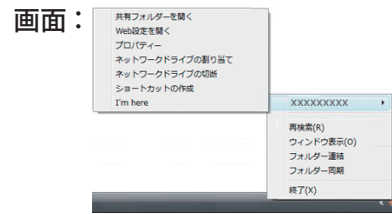
起動方法：デスクトップ画面の [BUFFALO NAS Navigator2] アイコンをダブルクリックします。

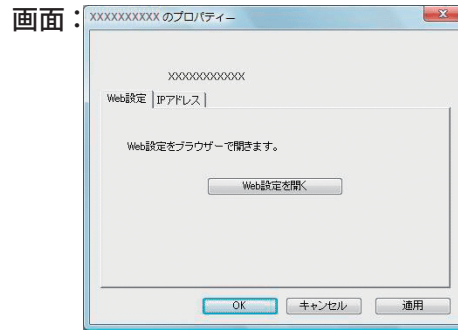
画面：

NOTE: LVM が有効なボリュームの表示はできません。

項目		機能
メニュー	ネットワークドライブの割り当て (※)	検索された TeraStation 共有フォルダーをネットワークドライブに割り当てます。
	ネットワークドライブの切断 (※)	ネットワークドライブの割り当てを解除します。
	すべての TeraStation/LinkStation のドライブの割り当て	検索された全ての TeraStation 共有フォルダーをネットワークドライブに割り当てます。
	TeraStation/LinkStation のショートカットの作成 (※)	検索された TeraStation の共有フォルダー（share）へのショートカットアイコンをデスクトップに作成します。
	常に常駐する	OS 起動時に NAS Navigator2 をタスクトレイに常駐させます。
	エラー情報を通知する	エラーが発生した際にタスクトレイの NAS Navigator2 アイコンからエラーメッセージを表示します。
	デフォルトブラウザーを使う	Web 設定画面を表示するのに OS で登録してあるインターネットブラウザーを使用します (本項目を選択しない場合、Internet Explorer を使用します)。
	フォルダー連結	TeraStation の共有フォルダーとパソコンのローカルドライブにあるフォルダーを連結して表示するための設定を行います。
	フォルダー同期	TeraStation の共有フォルダーとパソコンのローカルドライブにあるフォルダーを同期して表示するための設定を行います。
	プロパティー (※)	選択した TeraStation のプロパティー画面を開きます。
	閉じる	NAS Navigator2 の操作画面を閉じます。
表示	表示	[アイコン]：アイコンで簡単に表示します。 [詳細]：名称、製品名、ワークグループ、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを表示します。
	並び替え順序	複数 TeraStation が見つかったときの表示順序を次から選択します。 名称、製品名、ワークグループ、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ
開く (※)		表示された TeraStation の共有フォルダーを開きます。
更新		TeraStation を再検索します。
フォルダー連結		TeraStation の共有フォルダーとパソコンのローカルドライブにあるフォルダーを連結して表示するための設定を行います。
フォルダー同期		TeraStation の共有フォルダーとパソコンのローカルドライブにあるフォルダーを同期して表示するための設定を行います。
I'm here(※)		クリックすると TeraStation からメロディーが鳴ります (対応していない製品では選択できません)。

※ TeraStation のアイコンをクリックしないと表示されません。

NAS Navigator2 を最小化した場合、タスクトレイに常駐している NAS Navigator2 のアイコンから次の操作ができます。

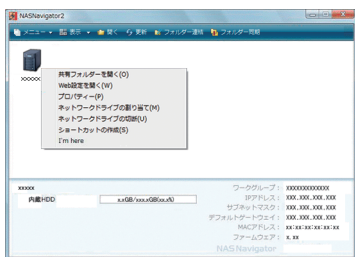
画面：

メニュー項目		機能
TeraStation 名	共有フォルダーを開く	TeraStation の共有フォルダーを開きます。
	Web 設定を開く	選択した TeraStation の設定画面を表示します。
	プロパティー	選択した TeraStation のプロパティー画面を開きます。
	ネットワークドライブの割り当て	検索された TeraStation 共有フォルダーをネットワークドライブに割り当てます。
	ネットワークドライブの切断	ネットワークドライブの割り当てを解除します。
	ショートカットの作成	検索された TeraStation の共有フォルダー（share）へのショートカットアイコンをデスクトップに作成します。
	I'm here	TeraStation からメロディーが鳴ります (対応していない製品では選択できません)。
再検索		TeraStation を再検索します。
ウィンドウ表示		NAS Navigator2 の操作画面を表示します。
フォルダー連結		TeraStation の共有フォルダーとパソコンのローカルドライブにあるフォルダーを連結して表示するための設定を行います。
フォルダー同期		TeraStation の共有フォルダーとパソコンのローカルドライブにあるフォルダーを同期して表示するための設定を行います。
終了		NAS Navigator2 を終了します。

TeraStation のプロパティー画面では、次の操作ができます。

メニュー項目	機能
Web 設定	[Web 設定を開く] をクリックすると TeraStation の設定画面を表示します。
IP アドレス	[IP アドレスを自動的に取得する] にチェックを入れると IP アドレスを DHCP サーバーから自動的に割り当てられるようにします。ネットワーク内に DHCP サーバーが無いときは、この機能は使用できません。 [IP アドレスを再取得する] にチェックを入れると IP アドレスを DHCP サーバーから再度取得します。 IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを手動で固定入力することもできます。 フェイルオーバー構成中およびフェイルオーバー機能でバックアップ機に指定されている場合は、IP アドレスを変更することはできません。

ネットワークドライブとして割り当てる (Windows)

付属の NAS Navigator2 を使って簡単に TeraStation の share フォルダーをネットワークドライブとして割り当てることができます。

1 デスクトップ画面の［BUFFALO NAS Navigator2］アイコンをダブルクリックします。
NAS Navigator2 が起動します。

2
TeraStation のアイコンを右クリックし、[ネットワークドライブの割り当て] をクリックします。

3 ［コンピューター (またはマイコンピューター)］の中に、TeraStation のネットワークドライブのアイコンが追加されています。他のハードディスクと同様の操作でネットワークドライブを使用できます。

NOTE: パソコン起動時に、TeraStation がネットワークに接続されていなかったり、電源が OFF の状態になっているときは、「ネットワークパスが見つかりません。この接続は復元されませんでした」と表示されます。

share フォルダー以外のフォルダーを OS の機能で手動割り当てするときは、OS のヘルプをご参照ください。

フォルダー連結機能を使用する (Windows)

<フォルダー連結機能とは>

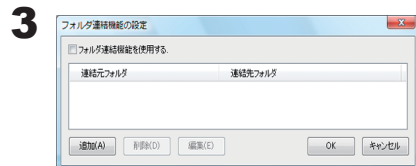
フォルダー連結機能では、Windows 8/7/Vista/XP/2000、Windows Server2003/Server2008 で TeraStation の共有フォルダーへのショートカットをデスクトップやマイドキュメント内のローカルフォルダーに登録することができます。
フォルダー機能を使用するには、次の手順で設定します。

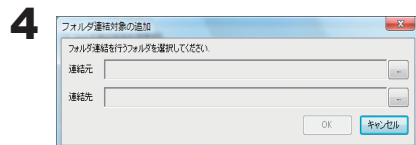
1 デスクトップ画面の [BUFFALO NAS Navigator2] アイコンをダブルクリックします。
NAS Navigator2 が起動します。

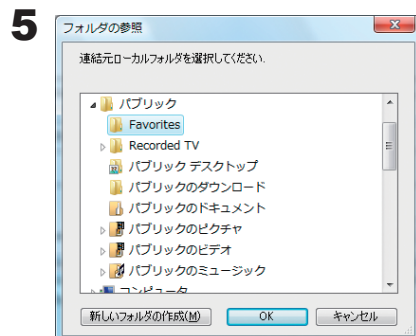
2

[フォルダー連結] をクリックします。

NOTE: Windows 8/7/Vista/XP/2000、Windows Server2003 以外の OS では、[フォルダー連結] は表示されません。

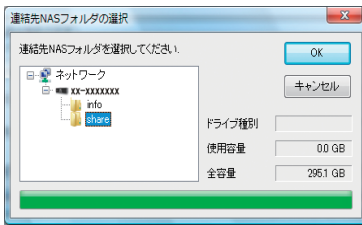
3

1 [フォルダー連結機能を使用する] をクリックし、チェックマークを表示させます。
2 [追加] をクリックします。

4

[連結元] の右端にあるボタンをクリックします。

5

1 連結元にするパソコンのローカルドライブ内のフォルダーを選択します。
2 [OK] をクリックします。

6

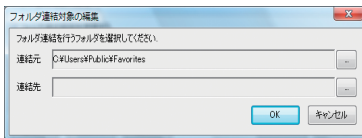
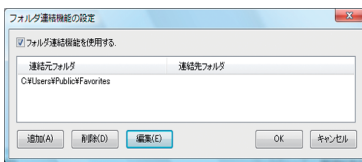
[連結先] の右端にあるボタンをクリックします。

7

1 連結先にする TeraStation 内のフォルダーを選択します。

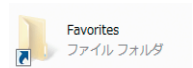
2 [OK] をクリックします。

8

[OK] をクリックします。

9

[OK] をクリックします。

以上でフォルダー連結機能の設定は完了です。

Windows 7/Vista ではフォルダー連結したフォルダーは右図のように矢印が表示されます。
解除した場合、矢印は消えます。

Windows Vista
の例

NOTE:
- フォルダー連結設定できる数は最大 10 個です。
- 1 つの連結先フォルダーに複数連結元フォルダーを指定することはできません。
- 1 つの連結元フォルダーに複数連結先フォルダーを指定することはできません。
- フォルダー連結設定を行ったユーザーとは別のアカウントで Windows にログインすると、フォルダー連結設定は無効になりますが、連結元フォルダーは別アカウントのユーザーからも見えます。別アカウントのユーザーから見えないようにしたいときは、アカウント名固有のフォルダー (マイドキュメントなど) を連結元に設定することをおすすめします。
- アクセス制限されたフォルダーへのフォルダー連結機能はサポートしておりません。
- 複数ユーザーが同一のネットワークフォルダーを連結先として設定していた場合、複数ユーザーからの読み書きはネットワーク上の共有フォルダーを読み書きする場合と同一となります。連結先のフォルダーは共有フォルダーとして動作します（他ユーザーが書き込んだものも連結元から見えます)。

フォルダー同期機能を使用する (Windows)

< フォルダー同期機能とは >

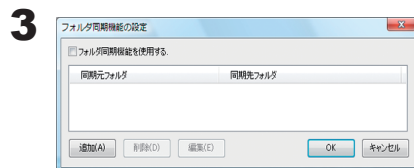
フォルダー同期機能では、Windows 8/7/Vista/XP/2000、Windows Server2003/Server2008 で TeraStation の共有フォルダーとパソコンのローカルフォルダーを同期させ、自動的にローカルフォルダーのファイルを TeraStation にアップロードすることができます。
フォルダー同期を使用するには、次の手順で設定します。

1 デスクトップ画面の [BUFFALO NAS Navigator2] アイコンをダブルクリックします。
NAS Navigator2 が起動します。

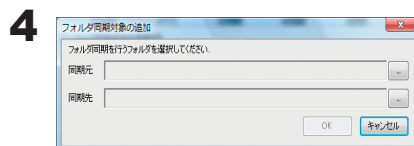
2

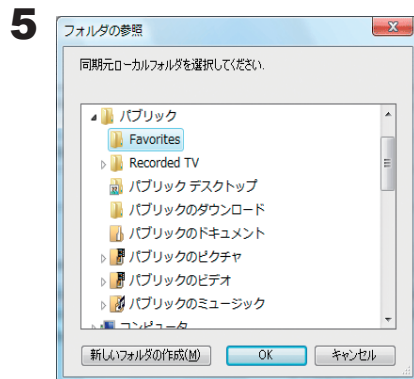
[フォルダー同期] をクリックします。

NOTE: Windows 8/7/Vista/XP/2000、Windows Server2003 以外の OS では、[フォルダー同期] は表示されません。

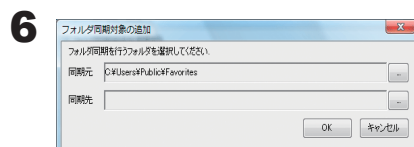
3

1 [フォルダー同期機能を使用する] をクリックし、チェックマークを表示させます。

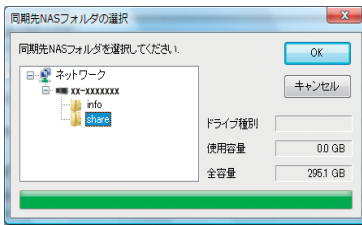
2 [追加] をクリックします。

4

[同期元] の右端にあるボタンをクリックします。

5

1 同期元にするパソコンのローカルドライブ内のフォルダーを選択します。

2 [OK] をクリックします。

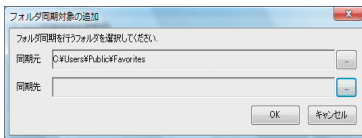
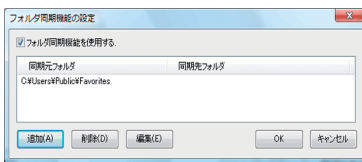
6

[同期先] の右端にあるボタンをクリックします。

7

1 同期先にする TeraStation 内のフォルダーを選択します。

2 [OK] をクリックします。

8

[OK] をクリックします。

9

[OK] をクリックします。

以上でフォルダー同期機能の設定は完了です。

NOTE:
- フォルダー連結と同じ設定をフォルダー同期に設定することはできません。
- フォルダー同期を設定できる数は最大 10 個です。
- 1 つの同期先フォルダーに複数同期元フォルダーを指定することはできません。
- 1 つの同期元フォルダーに複数同期先フォルダーを指定することはできません。
- フォルダー同期機能は、同期元フォルダーへのファイル・フォルダー作成、書き込みを監視し、同じ操作を同期先フォルダーに対して行います。同期先フォルダー内のファイルを別途更新しても、同期元フォルダー内の同名ファイルを更新した時点で、同期先フォルダー内のファイルは同期元フォルダー内のファイルと同じ内容となります。同期元でのファイル操作が同期先に反映されます。
- 同期先のフォルダー（TeraStation 上の共有フォルダー）を複数のネットワークユーザーが読み書きする場合の排他処理はネットワーク上の共有フォルダーを読み書きする場合と同一となります。同期先のフォルダーは他ユーザーには共有フォルダーとして動作します。
- アクセス制限されたネットワークフォルダーの認証はユーザーの接続開始時またはシステム起動時にのみ行われます。認証に失敗した場合は、次回ユーザーの接続時またはシステム起動時でないと再度ネットワーク接続認証は行われません。エクスプローラーからのアクセスとは違いフォルダーにアクセスする時に認証が行われるわけではありません。
- 複数のユーザーが同一のネットワークフォルダーを同期先として設定していた場合はファイル名の重複などが発生する可能性があるため、動作を保証できません。
- 複数のネットワークユーザーが同一のネットワークフォルダーを同期先として設定していた場合、ファイル名の重複などが発生する可能性があるため、動作を保証できません。
- 同期先フォルダーは個別のユーザーしか書き込みアクセスできないような設定を行っておくことをおすすめします。

NOTE: 同期機能の動作について
同期を開始した後に同期元に更新（ファイル／ディレクトリーの削除・作成・変更）があった場合は、その動作を同期先に反映する動作をします。以下の動作はファイルですが、ディレクトリーに対しても同じ動作となります。

同期開始前の状態

同期元	同期先
A.txt	B.txt

①同期開始したらどのような状態になるか
同期元に更新がない場合は何もされません。

同期元	同期先
A.txt	B.txt

② A.txt を変更したら同期先はどうなるか
同期元に存在するファイルが更新されると、同期先にそのままコピーされます。

同期元	同期先
A.txt(更新)	B.txt
	A.txt(更新)

③同期元の A.txt を削除したら同期先はどうなるか
同期元に存在するファイルが削除されると、同期先のファイルも削除されます。

同期元	同期先
	B.txt

③ ' 同期先の A.txt を削除したらどうなるか
同期先に存在するファイルが削除されても、A.txt に変化がない場合は何もしません。

同期元	同期先
A.txt	B.txt

その後、同期元 A.txt に変化があった場合に
同期先のファイルが更新されます。

同期元	同期先
A.txt(更新)	B.txt
	A.txt(更新)

④同期先に C.txt が追加されたらどうなるか
同期先にファイルが追加されても、同期元は何もしません。

同期元	同期先
A.txt	B.txt
	A.txt
	C.txt

④ ' その後、同期元に C.txt が追加されたらどうなるか
その後、同期元 C.txt が追加された場合に同期先のファイルが更新されます。

同期元	同期先
A.txt	B.txt
C.txt(更新)	A.txt
	C.txt(更新)

⑤同期元に D.txt が追加されたらどうなるか
同期元に D.txt が追加された場合、同期先に D.txt がコピーされます。

同期元	同期先
A.txt	B.txt
D.txt	A.txt
	D.txt

⑥同期元の D.txt と同期先の D.txt が同時に違う変更した場合はどうなるか
同時または同期元が少し遅く D.txt を更新した場合は、同期元の内容となります。

同期元	同期先
A.txt	B.txt
D.txt(更新 1)	A.txt
	D.txt(更新 1)

同期先が少しでも遅く更新された場合は、同期先の更新内容となります。

同期元	同期先
A.txt	B.txt
D.txt(更新 1)	A.txt
	D.txt(更新 2)

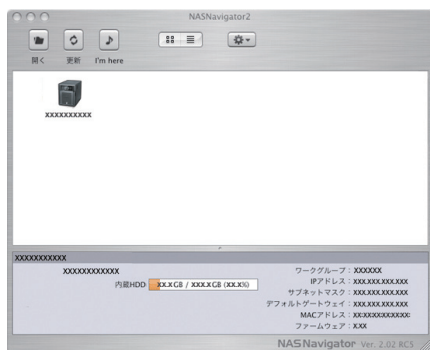
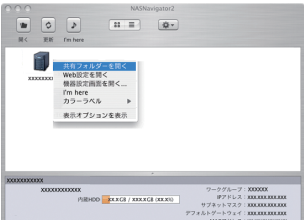
その後、同期元の D.txt が更新された時に、同期先に D.txt がコピーされます。

同期元	同期先
A.txt	B.txt
D.txt(更新 3)	A.txt
	D.txt(更新 3)

NAS Navigator2(Mac OS X 10.3.9 ～)

TeraNavigator で TeraStation をセットアップすると NAS Navigator2 がインストールされます。

起動方法：Dock 内の［NAS Navigator2］アイコン をクリックすると NAS Navigator2 が起動します。

画面：

TeraStation のアイコンをクリックすると選択した TeraStation の IP アドレス、ワークグループ、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、全容量、使用容量が表示されます。

NOTE: LVM が有効なボリュームの表示はできません。

メニュー項目		機能
開く		TeraStation の共有フォルダーを開きます。
更新		TeraStation を再検索します。
I'm Here		クリックすると TeraStation からメロディーが鳴ります (対応していない製品では選択できません)。
TeraStation のアイコンをコントロールキーを押しながらクリックしたときのメニュー	共有フォルダーを開く	TeraStation の共有フォルダーを開きます。
	Web 設定を開く	選択した TeraStation の設定画面を表示します。
	機器設定画面を開く	web 設定を開くための画面や、IP アドレスを変更するための画面を表示します。
	I'm Here	クリックすると TeraStation からメロディーが鳴ります (対応していない製品では選択できません)。
	カラーラベル	アイコンの下に表示される名称の色を選択できます。
	表示オプションを表示	アイコンサイズ、ラベルの位置、アイコンの並べる順序を設定できます。

ネットワークドライブとしてマウントする (Mac OS X 10.3.9 ～)

Mac OS X 10.3.9 以降では、付属の NAS Navigator2 を使って簡単に TeraStation の share フォルダーをネットワークドライブとして割り当てることができます。

1 **Dock 内の [NAS Navigator2］アイコン をクリックします。**

NAS Navigator2 が起動します。

2 コントロールキーを押しながら TeraStation のアイコンをクリックし、[共有フォルダーを開く] を選択します。

3

1 マウントしたい共有フォルダー名を選択します。

2［OK］をクリックします。

4 **マウントされるとデスクトップ画面に次のアイコンが表示されます (Mac OS X 10.5 以降では、Finder サイドバーに表示される場合もあります)。**

NOTE:
- 表示される文字は共有フォルダー名が表示されます。設定しているフォルダー名によって文字は異なります。
- Mac OS X 10.5 以降では、Finder サイドバーに表示される場合もあります。アンマウントするには、アイコンをゴミ箱へドラッグ & ドロップしてください。
- アンマウントするには、アイコンをゴミ箱へドラッグ & ドロップしてください。

以上でネットワークドライブの割り当ては完了です。

share フォルダー以外のフォルダーを OS の機能で手動割り当てするときは、OS のヘルプをご参照ください。

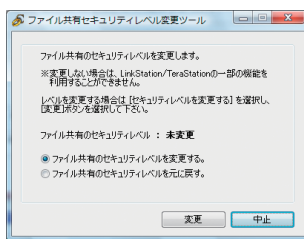
ファイル共有セキュリティレベル変更ツール

Windows 8/7/Vista、Windows Server2003/Server2008 で外部の SMB サーバーに認証を委任してアクセス制限を設定するには、ファイル共有セキュリティレベル変更ツールで Windows のセキュリティレベルを変更する必要があります。セキュリティレベルの変更は、次の手順で行います。

NOTE: ・Windows 8/7/ Vista、Windows Server2003/Server2008 のみインストールできます。
・ファイル共有セキュリティーレベル変更ツールは、下記ホームページからダウンロードすることができます。
http://buffalo.jp/download/driver/hd/lmclchg.html

1 ファイル共有セキュリティレベル変更ツールを起動します。

NOTE:「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたときは、[続行] をクリックしてください。

2

1 TeraStation にアクセス制限を設定するときは、[ファイル共有のセキュリティレベルを変更する] を選択します。

2 [変更] をクリックします。

3「セキュリティレベルを変更します」と表示されたら、[はい] をクリックします。

4「今すぐ再起動しますか?」と表示されたら、[はい] をクリックします。

パソコンが再起動します。

以上でセキュリティレベルの変更は完了です。

NOTE: 認証サーバー連携機能を利用したアクセス制限を設定しないときは、次の手順で元に戻すことができます。

1 ファイル共有セキュリティレベル変更ツールを起動します。
「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[続行] をクリックしてください。

2「認証サーバー連携機能を利用したアクセス制限」を設定しないときは、[ファイル共有のセキュリティレベルを元に戻す] を選択します。

3 [変更] をクリックします。

以上で元に戻す設定は完了です。

簡単バックアップ

パソコンのデータを TeraStation にバックアップしたいときに便利なユーティリティーです。使いかたについてはセットアップ後に、[スタート]-[(すべての) プログラム]-[BUFFALO]-[簡単バックアップ]-[簡単バックアップ マニュアル] をご参照ください。
Windows 8 をお使いの場合は、スタート画面の [簡単パックアップ] を右クリックし、表示されたメニューから [ファイルの場所を開く] を選択し、[簡単バックアップ マニュアル] をダブルクリックしてください。

NOTE: ・TeraStation のデータをバックアップしたいときは、TeraStation の設定画面で行います。
・Mac OS では使用できません。